

平成22年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校 4年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 「勉強が好きか」という質問に対し「好き」と答えている児童が多く、どの教科も「とても好き」という肯定的な回答が多かった。学習時間は、平日が1時間くらいで、休日にも10分～30分くらいは行っている。授業への取り組みについては、「授業に必要なものを忘れずに持ってきている」「学習をしていておもしろい、楽しいと思うことがある」「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」という肯定割合は高い。返事については全員が必要だと考えており、あいさつとともに授業以外の場でも基本的な生活習慣として繰り返し指導していきたい。「調べたりまとめたりするとき、コンピューターを使うことができる」割合は8割程度なので、コンピューターに接する機会を増やし、幅広いコンピューターリテラシーを習得させたい。
- ・ 家庭学習に関しては、「テストで間違えた問題は、もう一度やり直している」「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」ことへの肯定比率が高くどの児童も家庭学習が、ほぼ定着していると考えられる。「家の人の学習への関心」には各家庭によりばらつきがあり、関心が低い家もあるので家庭への啓発の機会を設ける必要がある。
- ・ 「世の中のことへの興味・関心」については肯定の割合が、あまり高くはない。新聞やニュースなどを意識的に見るようにさせ、世の中の情勢への興味・関心を高める働きかけの工夫をしたい。
- ・ 家の人、友達、先生に対してのあいさつの肯定割合は高いが、地域の知っている人へのあいさつの肯定割合は低い。食事の時のあいさつも低率である。家庭にも呼びかけ、あいさつの習慣化を図っていきたい。
- ・ 「学校生活に満足している」という肯定割合は高く、市の平均を上回っているが、更に教育相談等で具体的に情報を収集し、個々の児童のニーズに対応したい。「学校のきまりやルールを守っている」という肯定割合は高くなっている。
- ・ 平日の読書時間は個人差はあるものの、長い児童が多い。しかし、土・日曜日は他にやることが多いのか、読書時間は短い。
- ・ 学校がある日の寝る時間については、6割程度の児童が午後9時前までには寝ている。反面、10時過ぎに寝る約4割に対しては家庭にも協力を求めたい。早寝早起きをするようにしているという肯定割合は高いが、実際に、「朝、自分で起きることができますか。」「夜、決まった時間に寝ていますか。」という肯定割合は低い。
- ・ 「学校のほかで、1日にどれくらいテレビ、ビデオ、DVDを見ていますか。」と「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンをしていますか。」という質問に対しては、ほとんどないか見ても短い時間であると回答している。
- ・ 毎朝朝ご飯を食べてきている児童が多く、よい食事習慣がついてきており、好き嫌いをしないで食べるようになってきているようである。好き嫌いについては、今後も指導の工夫改善をしながら家庭にも呼びかけていきたい。
- ・ 携帯電話の所有率は昨年度より多くなっている。家庭でのルールを決め、フィルタリングもしている家庭が多いが、不十分な家庭もあるので、指導をしていく必要がある。